

USB 3.0e\SATA 1:5 SATA HDD デュプリケータドッキングステーション

SATDOCK5U3ER



*実際の製品は写真と異なる場合があります。

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

最新の情報は www.startech.com でご確認ください。

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則/パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。

StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

カナダ産業省準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-3 (B)

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

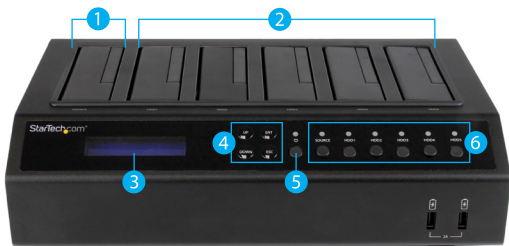
本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用する場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

目次

製品図	1
フロントビュー	1
リアビュー	1
はじめに	2
パッケージの内容	2
動作環境および使用条件.....	2
ハードウェアのセットアップ	3
基本操作	3
高度な操作	4
ユーザメニュー 目次	5
LEDインジケータ	11
技術サポート	12
保証に関する情報	12

製品図

フロントビュー



1. 2.5/3.5インチ HDD/SSD トップロード型ソースベイ (コピー元)
2. 2.5/3.5インチ HDD/SSD トップロード型ディスティネーションベイ (コピー先)
3. LCDディスプレイ
4. メニュー操作ボタン
5. 電源ボタン
6. ドライブ電源ボタン/LED

リアビュー



1. ファン速度制御
2. eSATAポート
3. USB 3.0ポート
4. 電源アダプタポート

はじめに

パッケージの内容

- 1 x USB 3.0/eSATA 1:5 SATA HDDデュプリケータドッキングステーション
- 1 x USB 3.0ケーブル
- 1 x eSATAケーブル
- 4 x ゴム足 (装着済み)
- 1 x ユニバーサル電源アダプタ (北米/日本、EU、UK、オーストラリア・ニュージーランド規格対応)
- 1 x ユーザマニュアル

動作環境および使用条件

コピー向け (デュプリケータモード)

- 1 x コピー元 2.5/3.5インチ ソリッドステート ドライブ (SSD) またはハードドライブ (HDD)
- 最大5 x コピー先 2.5/3.5インチ ソリッドステート ドライブ (SSD) またはハードドライブ (HDD)

消去向け

- 最大5 x 2.5/3.5インチ ソリッドステート ドライブ (SSD) またはハードドライブ (HDD)

ドッキングステーション向け (PCモード)

- 以下の要件を満たすコンピュータシステム:
 - 利用可能なUSBポート
- または
- 利用可能なeSATAポート (要ポートマルチプライヤサポート)

ハードウェアのセットアップ

警告!HDDやストレージのエンクロージャは、輸送中は特に、慎重に取り扱ってください。HDDを慎重に取り扱わない場合、データが損失する可能性があります。HDDやストレージデバイスは、必ず注意して取り扱いください。コンピュータを取り扱う際に帯電防止ストラップで適切に接地するか、接地済みの大型金属面(コンピュータケースなど)に数秒触れ、お客様の体に蓄積した静電気を放電してください。

1. 付属の電源アダプタを使用し、利用できるAC電源にSATDOCK5U3ERの電源アダプタポートを接続します。
2. SSD/HDDをトップロード型ドライブベイに挿入します。SSD/HDDのSATAコネクタが、ドアに2.5インチのカットアウトのあるドライブベイのコーナーと同じ向きになっていることを確かめます。SSD/HDDのラベルがSATAドッキングステーションの前面を向くようにします。

注意:

- コピーしたいデータを保存してあるドライブ(コピー元HDD)をソースベイに挿入します。
 - データをコピーする先のドライブ、または、データを消去するドライブは、ディスティネーションベイに挿入します。
3. SDOCK5U3ERの電源ボタンを押して、HDD/SSDが挿入されているドライブの電源をそれぞれ入れます。LCDディスプレイがアクティブになったことを示す電源ボタン周辺にある電源LEDが点灯します。
 4. (ドッキングステーション向けのオプション) インターフェース接続に合わせて、付属品のeSATAまたはUSB 3.0ケーブルでSDOCK5U3ERの対応ポートとお使いのコンピュータシステムの空きポートを接続します。

基本操作

ドライブのコピー

1. 上下矢印キーを使用してオンスクリーンLCDディスプレイからコピーを探して**ENT**を押します。
2. デュプリケータはソースドライブを分析し、容量を確認してターゲット全体が準備が整っていることを確認します。ドライブの分析が完了すると、デュプリケータの準備ができた旨を伝えるインジケータが表示されます。**ENT**を押すと、システムが自動的にコピーを開始します。

消去向け

警告!ターゲットポートに接続しているドライブに保存されているすべてのデータが削除されます。消去機能を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

1. 上下矢印キーを使用してオンスクリーンLCDディスプレイから**HDの消去**を探して**ENT**を押します。
2. 消去の準備ができた旨を伝えるインジケータが表示され、ドライブに保存されているデータが削除される旨の警告が表示されます。**ENT**を押してドライブのデータを消去することを確認します。

ドッキングステーション向け

1. 上下矢印キーを使用してオンスクリーンLCDディスプレイから**ホストにリンク**を探して**ENT**を押します。
2. ソースに接続されているHDD/SSD (ソースからホスト)、またはターゲットベイ (ターゲットからホスト) にドッキングするか、または、USBまたはeSATAを選択するか、リンクホストのサブメニューから選択することができます。上下矢印キーを使用して、以下のオプションから1つ選択します。
 - **USB ソースからホスト**
 - **USB ターゲットからホスト**
 - **ESATA ソースからホスト**
 - **ESATA ターゲットからホスト**
3. 選択したドライブには、コンピュータで接続しているかのように、オペレーティングシステム内でアクセスすることができます。
注意:6つのドライブは同時にドッキングできません。**ターゲットからホスト**では、5つのコピー先ドライブをドッキングし、**ソースからホスト**では単一のソースドライブにドッキングします。

高度な操作

オンスクリーンディスプレイとメニュー操作ボタンを使用して、デバイスメニューから高度な操作を実行することができます。上下方向の矢印を使用してメニューアイテム間を移動します。**ENT**で選択、**ESC**前のメニューアイテムに戻ります。

ユーザメニュー 目次

1. Copy HD (HDをコピーする)
2. Compare HD (HDを比較する)
3. Copy & Compare (コピー&比較)
4. PreScan HD (HDを事前スキャンする)
5. Erase HD (HDを消去する)
6. Source HD Size (ソースHDのサイズ)
7. Setup (設定)
 - 7.1 Copy Size (コピーサイズ)
 - 7.2 Copy Disk (コピーディスク)
 - 7.3 Startup Menu (設定メニュー)
 - 7.4 Button Sound (ボタン音)
 - 7.5 Device Info (デバイス情報)
 - 7.6 System Info (システム情報)
 - 7.7 Erase Mode (消去モード)
 - 7.7.1 - Quick Erase (クイック消去)
 - 7.7.2 - 1 Pass Overwrite (1パス上書き)
 - 7.7.3 - 3 Pass Overwrite (3パス上書き)
 - 7.7.4 - 7 Pass Overwrite (7パス上書き)
 - 7.8 Select Part (パーツの選択)
8. Adv Setup (高度な設定)
 - 8.1 Error Skip (エラースキップ)
 - 8.2 Load Defaults (デフォルトを読み込む)
 - 8.3 Upgrade Firmware (ファームウェアをアップグレードする)
9. Link Host (ホストにリンクする)

コピー

コピー機能は、ソースHDDからターゲットHDDにデータをコピーします。

注意:

- コピー処理中にエラーが発生した場合、OSDにその旨が表示されエラー元のドライブには紫色のLEDが点灯します。
- ドライブの不在またはドライブが非応答など、コピー処理前にエラーが発生した場合、エラー元のドライブには赤色のLEDが点灯します。この場合、ドライブはコピー処理中にないため、OSDにはエラーは表示されません。
- コピー処理中にエラーが発生し、1つ以上のドライブが接続されている場合は、コピー終了後にエラーが表示されます。エラーの理由を特定するには、エラーの発生したドライブのみコピーを実行するとOSDがすぐにエラーを表示します。

比較

比較機能は、コピー終了後にターゲットHDDとソースHDDに同一のデータが保存されているか確認します。

Copy & Compare (コピー&比較)

コピー&比較機能は、コピーを実行し、完了後自動的に比較を実行します。

HDDの事前スキャン

HDDの事前スキャン機能は、ハードドライブのエラーなどソースドライブを事前にチェックします。ドライブのコピーまたは消去で問題が発生している際のハードドライブ診断に適しています。

消去

警告!消去ポートに接続されているドライブに保存されているデータはすべて上書きされます。消去機能を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

消去機能はドッキングステーションに接続されているターゲットドライブのすべてのデータを消去します。

注意:

- 消去中にエラーが発生した場合、OSDにその旨が表示されエラー元のドライブには紫色のLEDが点灯します。
- ドライブの不在またはドライブが非応答など、消去前にエラーが発生した場合、エラー元のドライブには赤色のLEDが点灯します。この場合、ドライブはコピー処理中にないため、OSDにはエラーは表示されません。

- ・ 消去中にエラーが発生し、1つ以上のドライブが接続されている場合は、消去終了後にエラーが表示されます。エラーの理由を特定するには、エラーの発生したドライブのみコピーを実行するとOSDがすぐにエラーを表示します。
- ・ 消去機能には複数のモードがあり、モードの選択は設定メニューの消去モードセクションから実行できます[7.7]。

ソースHDDのサイズ

ソースHDDサイズ機能は、ソースドライブのサイズを計算します。ハードドライブのサイズは、ドライブサイズが同じであってもモデルによって異なるため合計を正確に計算することが重要になります。コピー先のドライブのサイズがコピー元のドライブのサイズより小さい場合、コピー先のドライブを示すLEDが赤色に点灯してエラーが発生したことを知らせます。

セットアップ

設定機能では、システム構成を見直して調節することができます。各構成のオプションの詳細と機能は、以下のメニューのサブセットを参照してください。

7.1 Copy Size (コピーサイズ)

コピーサイズ機能は、ソースドライブから複製されるデータ量を制限します。合計はギガバイト (GB) で定義します。

7.2 Copy Disk (コピーディスク)

コピーディスク機能は、ソースコピー完了時にディスクがコピーするターゲットディスク数を選択します。ディスク数はポート数を示しています。

7.3 Startup Menu (設定メニュー)

- * スタートアップのデフォルトメニューを設定します

7.4 Button Sound (ボタン音)

ボタン音機能は、デバイスのボタンを押した際にオーディオサウンドを再生するかどうか定義します。無効または有効のどちらかを選択します。デフォルトでは無効化されています。

7.5 Device Info (デバイス情報)

デバイス情報機能は、役割、サイズ、モデル番号、ドライブIDなど、インストールされたドライブの情報を表示します。

7.6 System Info (システム情報)

システム情報機能は、デュプリケータドッキングステーションの現在のファームウェアの改訂番号を表示します。

7.7 Erase Mode (消去モード)

消去モード機能は以下の消去タイプを定義します。

7.7.1 - Quick Erase (クイック消去)

ハードドライブのパーティションテーブルを消去します。

7.7.2 - 1 Pass Overwrite (1 パス 上書き)

各ドライブのすべてのデータを各セクタを「0」で1回上書きして完全に消去します。

パス	バイナリ	16進数
1	00000000	0x00

7.7.3 - 3 Pass Overwrite (3 パス 上書き)

各ドライブのすべてのデータを各セクタを3回上書きして完全に消去します。各セクタで1回は「0」、もう1回は「1」、そしてもう1回はランダムに「0」または「1」で上書きします。

パス	バイナリ	16進数
1	00000000	0x00
2	11111111	0xFF
3	ランダム	ランダム

7.7.4 - 7 Pass Overwrite (7 パス 上書き)

各ドライブのすべてのデータを各セクタを7回上書きして完全に消去します。
「0」、「1」、ランダムを組み合わせて消去します。

パス	バイナリ	16進数
1	11110110	0xF6
2	00000000	0x00
3	11111111	0xFF
4	ランダム	ランダム
5	00000000	0x00
6	11111111	0xFF
7	ランダム	ランダム

7.8 Select Part (パーツの選択)

パーツの選択この機能が有効になっていると、パーティションの数とコピーするデータを選択することができ、空きスペースとその他データを無視してコピー処理にかかる時間を短縮します。

無効になっていると、コピー処理ではフォーマット、パーティション、空きスペースなど、HDDすべてを完全にコピーするため、処理時間が長くなります。

8. Adv Setup (高度な設定)

高度な設定機能では、システム構成を見直して調節することができます。各構成のオプションの詳細と機能は、以下のメニューのサブセットを参照してください。

8.1 Error Skip (エラースキップ)

エラースキップ機能は、HDDにセクターエラーが生じた場合、コピープロセス中の許容セクターエラー数を設定します。ダメージのあるドライブやエラーを起こしているドライブからデータをコピーする際に使用すると便利な機能です。

*注意:ドライブにエラーが発生している場合コピーできない場合もあります。エラーが複数発生するとコピーに失敗する場合があります。

8.2 Load Defaults (デフォルトの読み込み)

初期設定の復元機能は、デバイスをオリジナルの構成に設定し直します。

8.3 Upgrade Firmware (ファームウェアのアップグレード)

デバイスのファームウェアへのアップデートがStarTech.comの製品ページから入手できる場合は、このオプションを用いてデバイスをアップデートします。以下の手順は、システムアップデートを実行する手順をまとめたものです。

注意: StarTech.comが推奨するときのみファームウェアのアップデートを行うようにしてください。

以下の手順は高度なユーザのみが実行するようにしてください。サポートが必要な場合は、StarTech.comの技術サポートまでお問い合わせください。

- a) SATDOCK5U3ERをWindows XP/7 が起動しているコンピュータへ接続します。
- b) 「高度な設定」を選択します -> OSDメニューからFirmware (8.3) をアップグレードします。
- c) USB モバイル Dis がコンピュータに表示されます。
- d) 新しいファームウェアのファイルをディスクにコピーします。

アップデートプロセスが始まります。完了すると、画面にアラートが表示されます。

9.ホストのリンク

ホストのリンク機能は、ドッキングモードでデバイスをコンピュータに接続する際に使用するホスト接続とドッキングするドライブ (ソース (1) またはターゲット (5)) の選択を可能にします。オプションは以下のとおりです。

USB ソースからホスト

USB ターゲットからホスト

ESATA ソースからホスト

ESATA ターゲットからホスト

LEDインジケータ

デュプリケータドッキングステーションには、各ドライブベイごとにLEDインジケータ機能が付いており、ドライブの動作状況を示してエラーが発生した場合にこれを知らせます。LED動作状況の詳細は、以下の表を参照してください。

動作状況	LED色	動作
ドライブの電源オン、検出済み	青	点灯
ドライブ動作状況	青	点滅
コピー/消去中にドライブにエラー発生	紫	点灯
ドライブが検出されない/準備されていない	赤	点灯

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/support までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンラインツール、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報はwww.startech.com/downloadsでご確認ください

保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は www.startech.com までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。